

国際協力の

専門家育成

東広島でNGO講座

非政府組織（NGO）の専門家育成を目指して、広島県と医療ボランティア団体「アジア医師連絡協議会」（AMD A、岡山市）が五日、「NGOカレッジ」をフザで開講した。

外務省によると、都道府県レベルで本格的なNGOの人材育成講座を開設するのは初めて。

広島では五日から十一日まで、NGO活動家や大学

教授、自治体職員らを講師に招き「国際法」「国連・国際機関」といった基本編から、ボランティア活動の実践編まで幅広くテーマを設定。最終日に、和英両文の「認定証」を出す。八月にはバンングラデシュでの海外研修も実施する。

五月からの募集で、定員五十人の三倍を超える約百六十人が全国から応募。定員枠を六十人に広げ、抽選の結果、十八〜六十五歳の専門学校生、大学教員らが受講生に選ばれた。

カレッジは来年度も開講予定で、広島県国際交流課は「実際の国際協力活動で不足しがちな現場とNGOを結び調整担当者を多く育てたい」と話している。